

質問に対する回答について

工事名) 秋田自動車道 岩見川橋耐震補強工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	特記仕様書(P15) 1 5 - 2 建設副産物の処理方法に記載のコンクリート塊約 260m ³ 、アスファルト・コンクリート塊約 4.3m ³ の発生場所・発生要因ごとの内訳をご教示ください。	内訳は設計図を踏まえ算出願います。
2	特記仕様書(P39) 2 2 - 2 2 工事用道路工の敷鉄板 B は中古品となっていますが、買取と考えるとよろしいでしょうか。ご教示ください。	その通りです。
3	平尾島川橋(上り・下り線) P3 橋脚耐震補強詳細図(その 3)根巻詳細図(図番号 23・28)にあるアンカーボルトφ51 L=1560 は数量総括表に記載がありません。数量をご教示ください。 また、割掛表の非破壊検査試験費の対象にも含まれておりません。併せてご確認ください。	アンカーボルトは耐震補強用鋼板の架設に含まれます。数量については設計図より算出願います。非破壊試験費については、設計図書及び現地状況を確認の上、必要な試験を計上してください。
4	平尾島川橋(上り・下り線) P3 橋脚耐震補強詳細図(その 3)根巻詳細図(図番号 23・28)において、ブラケットと補強鋼板との溶接は 1353.4m に含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。また、含まれていない場合はその数量をご教示ください。	ご提示のとおり、契約数量に含まれています。
5	奥羽本線橋 A1 橋台 RC 増厚補強配筋図(その 2)(図番号 10・12/61) アンカー鉄筋設置箇所(削孔径φ42)は割掛対象表-非破壊検査試験費(検査前)の対象となると考えますが。ご確認ください	割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けていません。設計図及び現地状況を踏まえて必要な費用を計上してください。
6	奥羽本線橋 A1 橋台横桁増厚補強配筋図(その 1)(図番号 13・12/61) の M2 2 アンカーはハンマードリルによる施工と考えますが、非破壊検査試験費(検査前)の対象となりますか。ご教示ください。	割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けていません。設計図及び現地状況を踏まえて必要な費用を計上してください。

7	<p>割掛対象表参考内訳書-非破壊検査試験費（施工前）の数量内訳（参考）-奥羽本線橋：20 m²とありますが、設計報告書の3-4 奥羽本線橋数量計算書-水平力分担構造（せん断ストッパー）数量計算より、貫通ボルト設置工の鉄筋探索面積は上・下り線で20 m²となっており、下部工用ブラケット削孔箇所が未計上になっていると思われるが、ご確認ください。また、未計上の場合はその数量をご教示ください。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けていません。設計図及び現地状況を踏まえて必要な費用を計上してください。</p>
8	<p>単価表、番号 26 表面保護工-コンクリート表面被覆工の仕様をご教示ください。</p>	<p>共通仕様書 17-11 に記載のとおりです。</p>
9	<p>特記仕様書 22-17（P33）支承取替工の沓座コンクリートはつりの施工方法はウォータージェットによると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>発注図書及び現地状況を踏まえて施工計画を立案願います。</p>